

第74回全国植樹祭

基本計画（中間報告）



目次

第1章 開催概要

- 1 開催意義
- 2 岡山県における全国植樹祭の開催状況
- 3 開催理念
- 4 岡山県の特徴を活かした大会の基本方針
- 5 大会テーマ
- 6 シンボルマーク
- 7 大会ポスター原画
- 8 開催会場
- 9 主催
- 10 開催規模
- 11 開催時期

第2章 式典行事計画

- 1 基本的な考え方
- 2 式典演出計画
- 3 式典運営計画
- 4 式典進行プログラム

第3章 植樹行事計画

- 1 基本的な考え方
- 2 お手植え・お手播き計画
- 3 代表者記念植樹計画
- 4 各県代表者等植樹計画
- 5 県外招待者へ苗木の贈呈
- 6 地域植樹計画

第4章 式典会場等整備計画

- 1 基本的な考え方
- 2 施設配置計画
- 3 主要施設計画
- 4 案内・誘導計画
- 5 電気・給排水・通信設備計画
- 6 飾花計画

目次

第5章 開催概要

- 1 基本的な考え方
- 2 招待計画
- 3 招待者行動計画
- 4 受付計画
- 5 特別接伴計画
- 6 レセプション計画
- 7 会場内動線計画
- 8 会場おもてなし計画
- 9 昼食計画
- 10 医療・衛生計画
- 11 消防・防災・警備計画
- 12 実施本部計画
- 13 研修・リハーサル計画
- 14 非常時対応計画

第6章 宿泊・輸送等計画

- 1 基本的な考え方
- 2 宿泊計画
- 3 輸送計画
- 4 運行管理体制・緊急時対応
- 5 道路交通対策

第7章 記念事業等計画

- 1 基本的な考え方
- 2 記念事業
- 3 関連事業

第8章 広報・協賛計画

- 1 基本的な考え方
- 2 広報計画
- 3 協賛計画

第1章 開催概要

1 開催意義

本県は、みどり豊かな中国山地に3つの河川（吉井川、旭川、高梁川）が源を発し、良質で豊かな水をたたえながら吉備高原、岡山平野を経て、風光明媚な瀬戸内海に注いでおり、みどりと水に恵まれた環境の中で多様な自然が育まれています。こうした多様で身近な自然は、生物多様性の保全やレクリエーションの場の提供、木材の生産など、私たちの快適な生活に欠くことのできない大切な役割を担っています。

また、県土の約7割を森林が占めており、生産量国内トップクラスのヒノキを始めとする豊富な森林資源を活用し、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを循環させることで、県民共有の財産である岡山の森林をより良い姿で次の世代に引き継いでいかなければなりません。

こうした中で、令和6（2024）年に開催する第74回全国植樹祭は、多様な主体が一体となり、森林を始めとするみどり豊かな自然を守り育てる取組等を推進することにより、森林の持つ公益的機能の確保はもとより、近年、その重要性が再認識されている二酸化炭素の吸収源である森林の役割や、持続可能な形で資源を利用する「循環経済」の加速化など、未来に向けて、人と森林の理想的なかかわりへつなげていけるよう、岡山ならではの特色ある有意義な大会とします。



第1章 開催概要

2 岡山県における全国植樹祭の開催状況

昭和42(1967)年 4月9日、金山山頂（岡山市）において、天皇皇后両陛下をお迎えし、「拡大造林と環境緑化」を大会テーマに、第18回全国植樹祭を開催しました。

当日は、あいにくの荒天となり、開催規模を約200人に縮小（晴天時は13,000人を予定）して実施されました。会場のテントの中で、両陛下はアカマツを鉢にお手植えになりました。

また、翌4月10日、蒜山地域（旧真庭郡川上村）において、天皇陛下はアカマツを、皇后陛下はヒノキをお手播きになりました。



アカマツをお手植えされる天皇皇后両陛下（岡山市）



お手植え苗木移植式
(4月17日 岡山市)



両陛下お手植の苗木の移植
(4月17日 池田厚子さん)



お手播きされる天皇皇后両陛下（蒜山地域）
(天皇陛下：アカマツ、皇后陛下：ヒノキ)

第1章 開催概要

3 開催理念

私たちは、第74回全国植樹祭の開催を通じて、「豊富な森林資源の循環利用」を進めるとともに、森林の持つ公益的機能の確保に努めます。

また、県民一人ひとりの緑化意識のさらなる醸成を図り、豊かな自然を守り育てるための県民運動を拡大する契機とし、みどりあふれる郷土を未来の子どもたちへつないでまいります。併せて、本県の歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信します。

4 岡山県の特徴を活かした大会の基本方針

(1) 未来に向けて多様で豊かな森林を守り育て、人と森林の理想的なかかわりへつなげていく大会

- 豊富な森林資源の循環利用による林業の成長産業化の実現に向けて、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを活性化させるとともに、少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えや木材・木質バイオマスの利用を通じて、森林の公益的機能の確保を図ります。
- 環境問題への関心の高まりから、県内各地で、森林保全活動に取り組むボランティア団体や企業等が増えています。今後、全国植樹祭に向け、より多くの県民の皆様に参加いただきながら開催の機運を盛り上げてまいります。また、この大会を契機として、緑化意識の醸成を図り、豊かな森林の緑をよりよい姿で将来へ引き継いでいきます。

(2) 岡山県の豊かな自然や歴史・文化等の魅力発信

- 中国山地、瀬戸内海、三大河川など多彩で豊かな自然や、本県の気候風土に育まれた歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信します。
- 県外から訪れる多くの参加者に対して、関係者はもとより県民全体で「おもてなしの心」で対応し、岡山県にまた来たいと思われるような「温かみ」のある大会とします。

第1章 開催概要

5 大会テーマ

全国から応募があった1,444点の作品の中から選定しました。

晴れの国 光で育つ 緑の心

- 作者：おおすみ はんな 大隅 絆成さん（岡山市北区・岡山市立西小学校5年生 ※選定時）
- 制作意図：岡山は晴れの国だから光を使った。育つのは緑にも心にも使えるから両方育てばいいなと思いその願いをこめた。

6 シンボルマーク

全国から応募があった471点の作品の中から選定しました。

- 作者：みやかわ ちはる 宮川 千明さん（岡山市北区）
- 制作意図：ももっち、うらっちの足元の輪を繋げる事で、「循環」「人・活動のつながり」を表現。2人の服装は緑を基調に動きやすい格好にした。背景の桃にサンバースト（太陽光線）をあしらう事で、晴れの国のイメージも足して岡山らしさを出した。



7 大会ポスター原画

令和4年度募集予定

岡山県内の小中高校生等から応募があった●●●点の作品の中から選定しました。

- 作者：
- 制作意図：

第1章 開催概要

8 開催会場



(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き行事や各県代表者等による植樹を実施します。また、岡山県の魅力を発信するおもてなし広場を隣接地に設定し、参加者を歓迎します。

■ ジップアリーナ岡山 (岡山市北区)

J R岡山駅から約1.5kmの岡山県総合グラウンド内に位置し、メインアリーナやサブアリーナを備え、ガラス面を多く採用し、木材を椅子、床、壁面に使用した明るく開放的で温かい雰囲気のある体育館です。屋内施設であるため、荒天時の式典会場は別に設けません。



ジップアリーナ岡山



式典会場 (イメージ)

第1章 開催概要

(2) サテライト会場・PR会場

式典参加者のみならず、より多くの県民の皆様と開催理念を共有し、第74回全国植樹祭の開催効果を高めるため、サテライト会場やPR会場を設置します。サテライト会場やPR会場では、式典中継映像の放映や木工体験等を実施します。

区分	会場名	所在地
サテライト会場 ※大会当日に開催		
PR会場 ※大会当日に開催		

■ サテライト会場



■ PR会場



(3) 地域植樹会場

令和5年度を中心とした県民参加の地域植樹会場を設置します。

区分	時期	場所	
プレ地域植樹	令和4(2022)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地
地域植樹	令和5(2023)年 秋頃	津山市市場	こえがたわ ウッドパーク声ヶ峠
		高梁市有漢町有漢	高梁市市有林
		新見市大佐小阪部	大佐山大日高原
		鏡野町上齋原	恩原高原
		勝央町岡	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
アフター 地域植樹	令和6(2024)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地

第1章 開催概要

9 主催

公益社団法人国土緑化推進機構
岡山県

10 開催規模

第74回全国植樹祭は、県内外から参加する招待者、協力者・スタッフ等を含め、4,000人程度の規模で開催します。

参加者区分	参加予定者数	備考
県外招待者	950人	国関係者、被表彰者、各都道府県招待者 等
県内招待者	1,700人	県議会議員、市町村関係者、森林・林業・緑化関係者、実行委員会委員、県内公募による一般県民等
本部員・協力員	1,350人	実施本部員、協力員、出演者、運営ボランティア等
合計	4,000人	

11 開催時期

令和6(2024)年春

第2章 式典行事計画

1 基本的な考え方

式典行事は、次の事項を基本として実施します。

- 開催理念を共有するとともに、参加者の心に残る内容の大会とします。
- 式典は、簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- 県内外から、若い世代、高齢者、障害のある方等できる限り多くの皆様や大会に賛同いただいた企業、団体等が参加できるよう配慮します。

2 式典演出計画

式典は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とします。

区分	演出テーマ	内容
プロローグ	もり 森林の軌跡	○招待者を歓迎する気持ちを表現 ○おかやまの林業の歴史や森林と人の関わりを紹介
記念式典	もり 森林への思い	○森林への思いや都市とのつながり、決意を表明
エピローグ	もり 豊かな森林を次世代へ	○岡山の豊かな森林を次世代へつなげていくことを全員で確認し、全国に発信

※演出テーマ及び内容は、式典等専門委員会で検討中

3 式典運営計画

式典運営は、次の事項を基本とし、岡山県らしさを感じていただける運営を行います。

- 式典の運営は、参加者の安全性や快適性に十分配慮し、児童・生徒やボランティア等の協力を得ながら行います。
- 司会者や式典補助員、式典音楽隊の出演者等については、児童・生徒をはじめ県内の関係団体等の協力と参加を得て編成します。

第2章 式典行事計画

4 式典進行プログラム

時間	区分	プログラム	進行内容
50分程度	プロローグ		
60分程度	記念式典		
30分程度	エピローグ		

第3章 植樹行事計画

1 基本的な考え方

植樹行事は、次の事項を基本として実施します。

- 将来目指すべき森林の姿をイメージした上で、本県の気候風土や地域の特性に適した樹種で、県民の皆様が親しみのあるものを選定します。
- 式典会場内にお手植え所・お手播き所、代表者記念植樹地を設けます。
- 式典会場周辺に、各県代表者等による植樹地を設けます。
- 県民参加による森づくり・身近なみどりの創出につなげていくため、地域植樹会場を設け、多くの県民の皆様が参加できるようにします。
- 植樹用の苗木は、県内で採取した種子等により育成したものをを使用することを基本とし、地域植樹では児童など県民の皆様が育てた苗木も使用します。

2 お手植え・お手播き計画

- 天皇皇后両陛下に、お手植え、お手播きを賜ります。
- お手植えされた記念樹は、第74回全国植樹祭の開催を記念し、県土を育む豊かな森づくりのシンボルとして大切に管理・育成していきます。
- お手播きされた種子から養成した苗木は、岡山県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配付します。



第70回全国植樹祭（愛知大会）

第3章 植樹行事計画

■ 天皇陛下お手植え樹種

県を代表する有用な樹木3種を選定

樹種		特徴・選定理由など
アカマツ (抵抗性：桃太郎松)		<ul style="list-style-type: none"> ・県の木として広く県民に親しまれています。 ・建築材としての利用のほか、備前焼の燃料として利用されています。 ・第18回大会（昭和42年）で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹種です。
ヒノキ (少花粉)		<ul style="list-style-type: none"> ・県の林業を支える主要樹種で、県内には気候風土に適したヒノキが多く植えられています。 ・建築材などに利用され、生産量は全国トップクラスです。 ・第18回大会で皇后陛下がお手播きされた樹種です。
スギ (少花粉)		<ul style="list-style-type: none"> ・県の林業を支える主要樹種で、ヒノキの次に多く植えられています。 ・建築材やC L Tの材料として利用されています。

■ 皇后陛下お手植え樹種

県にゆかりのある花や実の美しい樹木3種を選定

樹種		特徴・選定理由など
クログネモチ		<ul style="list-style-type: none"> ・地方名の「あくら」は岡山市内の道路の名称としても親しまれています。 ・5月から6月頃に淡紫色の小花を咲かせた後、赤い実を付けます。
アテツマンサク		<ul style="list-style-type: none"> ・阿哲郡（現・新見市）で発見され、命名された地域固有種です。 ・2月から3月頃に淡黄色で短冊のような花を咲かせます。
キクザクラ		<ul style="list-style-type: none"> ・昭和28年に昭和天皇が行幸啓の際、後楽園に植樹されました。 ・池田厚子さん（順宮厚子内親王）のお印です。 ・4月下旬に淡紅色の多数の花弁を付ける「菊咲き」をします。

第3章 植樹行事計画

■ 天皇陛下お手播き樹種

将来にわたり林業を支える樹木2種を選定

樹種		特徴・選定理由など
ヒノキ (少花粉)		<ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたり林業を支える樹種として県が普及に取り組んでいます。 ※木材の利用期を迎えているスギ・ヒノキ人工林の伐採に併せて、跡地に少花粉苗木による植替えを促進するなど花粉発生源対策に取り組んでいます。
スギ (少花粉)		

■ 皇后陛下お手播き樹種

四季折々の景観を形成する花や紅葉の美しい樹木2種を選定

樹種		特徴・選定理由など
ヤマザクラ		<ul style="list-style-type: none"> ・県内に広く自生する野生種で、県の天然記念物など、地域のシンボルとなっています。 ・淡紅色の花を咲かせ、新緑の山野に春の風情を添えています。 ・県内に広く自生する樹種で、国の名勝の豪渓など、多くの名所があります。 ・紅葉する様子は鮮やかで、秋の自然景観に彩りを添えています。
イロハモミジ		

3 代表者記念植樹計画

- 招待者代表は、式典会場内で、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時にそれぞれ1本ずつ行います。
- 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 代表者記念植樹木は、アフター地域植樹において、本県の森づくりに活用します。

第3章 植樹行事計画

4 各県代表者等植樹計画

- 各県代表者等は、式典会場周辺で、式典開始前にそれぞれ1本ずつ植樹を行います。
- 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 各県代表者等植樹木は、アフター地域植樹において、本県の森づくりに活用します。

5 県外招待者へ苗木の贈呈

- 県外招待者には、苗木を贈呈します。
- 全国各地において植樹をしていただくことにより、岡山から全国へ、身近なみどりの創出につなげてまいります。

6 地域植樹計画

- 令和5年度を中心に県民参加による植樹を行います。
- 岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹します。
- 児童など県民が育てた苗木も使用します。
- 木工体験等のイベントを併催し幅広い世代の県民の皆様に参加していただきます。

区分	時期	場所	
プレ地域植樹	令和4(2022)年秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地
地域植樹	令和5(2023)年秋頃	津山市市場	こえがたわ ウッドパーク声ヶ峠
		高梁市有漢町有漢	高梁市市有林
		新見市大佐小阪部	大佐山大日高原
		鏡野町上齋原	恩原高原
		勝央町岡	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
アフター地域植樹	令和6(2024)年秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地

第4章 式典会場等整備計画

1 基本的な考え方

- 既存施設の活用など経費削減を図ることを基本とします。
- 県産木材を積極的に使用します。
- 使用した県産木材は、再使用及び再生利用等を行います。

2 施設配置計画

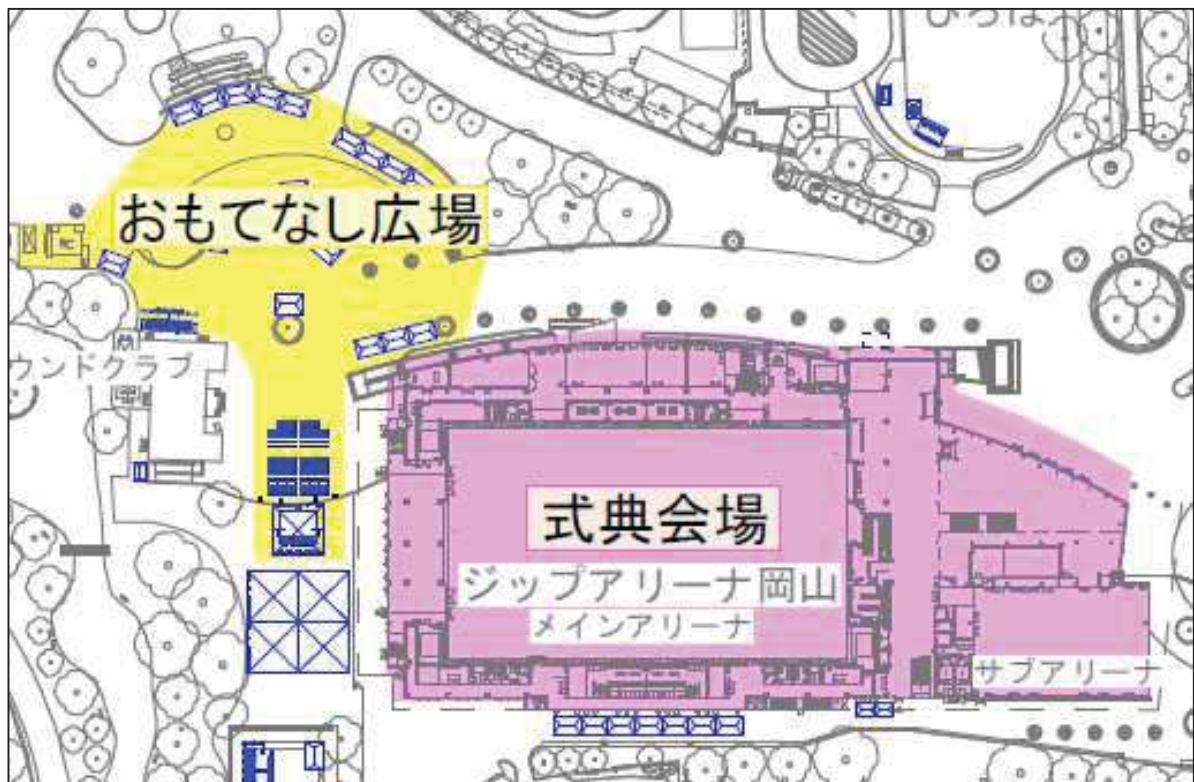
(1) 式典会場

会場レイアウトや構造物等については、安全性や機能性を考慮し、全ての参加者が安心して快適に参加できるよう配慮します。

(2) おもてなし広場

式典会場と隣接しておもてなし広場を設置し、招待者に岡山の魅力をもPRします。

敷地図



第4章 式典会場等整備計画

3 主要施設計画

(1) 御座所

御座所は、「大会テーマ」などを表現し、岡山らしさを象徴するデザインにします。



※イメージ

(2) 会場内工作物

会場内工作物は、全国植樹祭終了後の再利用を考慮して制作します。原則として県産木材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものにします。



木製ベンチ



木製プランターカバー

第71回全国植樹祭（島根大会）



歓迎ゲート（イメージ）

第4章 式典会場等整備計画

4 案内・誘導計画

- 招待者が安全かつスムーズに式典や植樹行事などに参加することができ、各施設等への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- 案内サインの材料には、県産木材のほか、リユース可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。
- 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、視覚障害者向けに音声案内設備を設置するなど、障害等の特性に応じた方法で案内できるよう対応します。

配置区域	サイン種別	内容
会場全体	施設表示	各エリア、施設等の名称を表示
	誘導	招待者を各エリア、施設等に誘導するサインを動線上に設置
	注意事項	遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等を表示
式典	座席表示	招待者の座席位置等の表示
	会場案内図	会場内の全体図及び現在地の表示
輸送バス	バス号車	バス号車添乗員が招待者を誘導する際、バス号車を表示したプラカードを使用
	バス誘導	バスを会場周辺の動線に従い誘導したり、招待者乗降位置や駐車場へ誘導

第4章 式典会場等整備計画

5 電気・給排水・通信設備計画

(1) 電気設備計画

既存設備で不足が生じた場合は、仮設電源（ジェネレーター等）を設置し対応します。

(2) 仮設トイレ計画

おもてなし広場などに適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分に配慮します。

(3) 通信設備計画

運営を円滑に行うため、携帯電話やトランシーバーなどの無線通信機器を適正に設置します。

6 飾花計画

会場周辺の飾花は、県内産の花きを使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう設置します。

設置区域	内 容
式典会場	各エリアの区分や招待者の動線を明確にするとともに、会場の雰囲気を引き立てるよう、プランター等を設置します。
サテライト会場 PR会場	プランター等を設置します。



第71回全国植樹祭（島根大会）

第5章 運営計画

1 基本的な考え方

- 全国からの招待者を岡山らしいおもてなしでお迎えし、開催の意義や理念を広く発信する場とします。
- 全国植樹祭の運営に当たっては、市町村、関係団体、NPO法人、ボランティア団体等との協力、連携を図りながら進めます。

2 招待計画

(1) 運営上による招待区分

参加者区分		人数	備考
①中央特別招待者		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、岡山県知事、県議会議長、次期開催県知事、開催市町村長等
②特別招待者	県外等特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員等
	小計	420人	
③一般招待者	県外一般招待者	700人	各都道府県森林・林業関係者等
	県内一般招待者	1,500人	県内の森林・林業・緑化関係者、県内公募による一般県民等
	小計	2,200人	
招待者小計 (①+②+③)		2,650人	
④本部員・協力員		1,350人	実施本部員、協力員、出演者、運営ボランティア等
合計 (①+②+③+④)		4,000人	

第5章 運営計画

3 招待者行動計画

検討中

4 受付計画

5 特別接伴計画

※「3 招待者行動計画」、「4 受付計画」及び「5 特別接伴計画」は第6章 宿泊・輸送等計画と併せて検討

6 レセプション計画

天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第74回全国植樹祭招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

【主 催】 岡山県

7 会場内動線計画

検討中

第5章 運営計画

8 会場おもてなし計画

- 式典会場と隣接しておもてなし広場を設置します。招待者が快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、仮設トイレ等を整備します。
- 岡山県の森づくり活動の取組や観光、特産品等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナー、物産販売コーナー等を関係団体の協力により披露します。
- おもてなしステージでは、郷土芸能等の演目を実施します。
- 会場警備上、傘の持込みができないため、事前にレインコートを配付します。

区分	種類	内容
おもてなし広場	総合案内所	各種案内・情報提供
	湯茶接待コーナー	湯茶、ミネラルウォーターの提供
	おもてなしステージ	郷土芸能等の披露
	展示コーナー	岡山県の森林・林業、観光等の紹介
	販売コーナー	岡山県の特産品や飲食物等の販売
	臨時郵便局	記念切手の販売、郵便・宅配サービス



第70回全国植樹祭（愛知大会）

第5章 運営計画

9 昼食計画

- 県産食材をふんだんに使用した「岡山県らしい」弁当とします。
- 弁当の製造、輸送、保管、配付にあたっては、衛生・安全面に万全を期すとともに、保冷車で運搬します。
- 弁当等の容器・包装資材については、環境に十分配慮します。



第71回全国植樹祭（島根大会）

※実施手法等については検討中

10 医療・衛生計画

（1）医療救護所の設置

- 県総合グラウンド内に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- 消防署や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急の場合の搬送・受入体制を整えます。

（2）衛生対策

- 保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- 食の安全を期すため、弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供施設などの指導を徹底します。
- 飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺的环境美化に努めます。
- 国の「感染症対策の基本的対処方針」や「イベント等における業種別ガイドライン」等を踏まえて、本大会における必要な計画・方針を作成し、三密（密閉・密集・密接）の抑止や消毒等の感染リスク拡大防止などの基本的な対策を実施するとともに、今後の様々な情勢変化を把握し、迅速かつ適切な対策を講じるなど、参加者の安全を最優先に、感染症対策を徹底します。

※詳細には、運営計画を検討する中でマニュアルを作成

第5章 運営計画

11 消防・防災・警備計画

- 消防、警察署その他関係機関との協力体制を築き、連携を密にして、招待者等の安全を確保し、安心して参加いただけるようにします。

(1) 消防・防災

- 実施本部が中心となり、異常事態の早期発見・通報に努めます。
- 会場内は、喫煙所を除き全て禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- おもてなし広場等の火気使用についても管理を徹底します。
- 避難計画を策定し、実施本部員への周知を図るとともに、安全に避難できる体制を整えます。

(2) 警備

- 会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 警備員などを配置して、警備や車両の整理、招待者等の誘導を行います。
- 式典会場の入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を行います。
- 式典会場、植樹会場、駐車場等では、使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

※詳細には、運営計画を検討する中でマニュアルを作成

12 実施本部計画

- 円滑な運営を図るための実行組織として、「第74回全国植樹祭岡山県実施本部」を設置します。
- 県職員、ボランティアなどの協力を得て効率的な要員配置を行うとともに、実施運営の円滑化及び招待者等の安全性や快適性の確保に努めます。

第5章 運営計画

13 研修・リハーサル計画

- 円滑な運営に向けて、実施本部員、協力員（ボランティア等）の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
- 効果的な研修・リハーサルを実施するため、事前に、各班単位の「運営マニュアル」を作成します。
- リハーサル計画に基づき、実施本部員全員が業務内容を把握できるようにします。

（1）実施本部員等の研修計画

実施本部員、協力員（ボランティア等）の研修は、事前の資料配付、現地視察、リハーサルへの参加等により実施します。

（2）研修・リハーサル計画

区分	時期	場所	参加者	内容
		検討中		

14 非常時対応計画

- 開催日の1週間前から随時、気象情報の収集に努め、集中豪雨、地震、突発事案を含めた非常事態が発生した場合は、実施の可否を判断するとともに、ホームページ等にて周知します。
- あらかじめ関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な指示・伝達を行います。

第6章 宿泊・輸送等計画

1 基本的な考え方

2 宿泊計画

3 輸送計画

4 運行管理体制・緊急時対応

5 道路交通対策

※「1 基本的な考え方」から「5 道路交通対策」までは第5章 運営計画「3 招待者行動計画」、「4 受付計画」及び「5 特別接伴計画」と併せて検討

第7章 記念事業等計画

1 基本的な考え方

第74回全国植樹祭の開催理念を広めるとともに、森づくりや木材利用の必要性について、県民の皆様幅広く啓発するため、記念事業等を実施します。

2 記念事業

■ 周期イベント

第74回全国植樹祭の大会の周知、開催気運の醸成等を図るため、周期イベント（1年前、200日前、100日前、アフターイベント）を開催します。

【時期】
【場所】
【内容】

検討中

■ 緑化意識・機運醸成イベント

県民の緑化意識・開催機運の醸成を図るため、令和5年度を中心に開催します。

■ 地域植樹（再掲）

県内に設置した地域植樹会場で県民参加による植樹を行います。岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹します。

区分	時期	場所	
プレ地域植樹	令和4(2022)年秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ケ山牧場跡地
地域植樹	令和5(2023)年秋頃	津山市市場	こえがたわ ウッドパーク声ヶ峠
		高梁市有漢町有漢	高梁市市有林
		新見市大佐小阪部	大佐山大日高原
		鏡野町上齋原	恩原高原
		勝央町岡	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
アフター地域植樹	令和6(2024)年秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ケ山牧場跡地

第7章 記念事業等計画

■ 全市町村参画による記念植樹

第74回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、令和5年度を中心に、県内市町村において、記念植樹を実施します。

【場所】 各市町村の公共施設等

【内容】 記念植樹

■ 苗木のホームステイ・スクールステイ

第74回全国植樹祭記念事業等で活用する苗木の育成体験を実施します。この取組により森林や身近なみどりの大切さについて、児童・生徒をはじめとする多くの県民の皆様にご覧いただきとともに、第74回全国植樹祭の開催機運を醸成します。

■ 「木製地球儀」巡回展示

第74回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、大会シンボルである「木製地球儀」を県内各地で巡回展示します。

■ 記録誌の発行

第74回全国植樹祭の式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念行事などの取組を記録誌にまとめ、関係機関等に配布します。

3 関連事業

■ 第52回全国林業後継者大会

第74回全国植樹祭の併催行事として「全国林業後継者大会」を開催します。

【時期】 令和6(2024)年春(第74回全国植樹祭の前日)

第8章 広報・協賛計画

1 基本的な考え方

- 広報宣伝や協賛募集を通じて、第74回全国植樹祭の開催理念、基本方針及び内容、大会に向けた様々な取組等について、広く普及・浸透を図り、開催への機運を醸成していくとともに、今回の大会を本県の魅力を全国に発信する絶好の好機ととらえ、効果的なPRを行います。
- 広報媒体の特性を生かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。また、SNSを活用し若い世代への情報発信も行います。
- ロゴマーク及び大会ポスター原画を活用し、第74回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。

2 広報計画

(1) インターネットの活用

第74回全国植樹祭の公式ホームページを開設するとともに、SNSの活用等を通じて、各種イベント・取組等に関する情報を積極的に発信します。また、各種問い合わせや申し込みなどについても、インターネットを効率的に活用します。

(2) 公共広報媒体の活用

県及び各市町村の広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かい情報提供とPR活動を実施します。

(3) マスメディアの活用

第74回全国植樹祭、記念事業等に関する情報が広く発信されるよう、テレビ、ラジオ、新聞等の各報道機関への情報提供を積極的に行います。

(4) 企業・団体との連携

ロゴマーク等の使用を広く呼びかけるなど、県内を中心とした企業・団体の支援協力による広報活動を通じ、第74回全国植樹祭の周知を図ります。

(5) 植樹祭情報紙の発行

「全国植樹祭だより」を発行し、開催準備状況や記念事業の実施状況等について情報発信します。

(6) PRグッズの作成・配布

ロゴマーク等を用いた各種PRグッズを作成・配布し、開催の周知と機運の醸成を図ります。

第8章 広報・協賛計画

3 協賛計画

- 「第74回全国植樹祭」を成功へと導き、一過性のイベントとして終わらせることなく、県民を始めとする多くの方々の心に残る実り多いものとするためには、この大会の趣旨に御賛同いただくとともに、広く支援・協力を求めています。
- 協賛企業等は、第74回全国植樹祭の式典会場や公式ホームページ、広報誌、記録誌等で協賛者名が掲載されるなど、特典が得られます。

(1) 資金協賛

第74回全国植樹祭の開催に要する資金（協賛金）の提供

(2) 物品協賛

第74回全国植樹祭の開催に要する物品（協賛物品）の提供

(3) その他

第74回全国植樹祭の開催に要する機器等の無償貸与、役務の提供、広告掲示等による協力

※詳細は第5回総会で報告予定